

産学連携授業

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学、専門学校等が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

「アイデアを出すことが得意になろう！」

日時：令和5年2月14日（火）6・7限

対象：スポーツ健康科学科1年生

講師：アシックススポーツ工学研究所 フューチャークリエーション部
三ツ井 滋之 先生

スポーツメーカーが新商品を開発する時、様々なアイデアの創出が求められます。一口に新商品の開発と言っても、速く走るためのウェア、シューズの開発、素材の開発だけではなく、スポーツ環境をどのように整えたら良いのか？現在、そして未来の社会情勢を鑑みてスポーツ、健康へのハード面、ソフト面など多岐にわたるシステムづくりなど様々な分野に渡ります。

みんなの溢れ出るアイデアをまとめて、具体的に現実化していくための方法のひとつである**マインドマッピング**（頭の中で考えていることを脳内に近い形に描き出すことで、記憶の整理や発想をしやすくするもの）を体験しました。

固定観念に囚われずに自由に発想を飛ばたさせることが大切です。

突飛な発想であってもみんなで評価し合い、困難な状況下でそれを打破するアイデアを出せる創意工夫する能力は大変重要です。みんなが持っている宝物のような自由な発想から新しい物が生み出されます。

グループ毎のプレゼンテーション後に生徒同士の評価、三ツ井先生からの的確なアドバイスをあり、短い時間でしたが、「これは社会の中で生きるな！」と実感する授業でした。

今回は以下のテーマを設定しました。

1. 「日本人がフルマラソンで1時間50分を切るグッズ」
2. 「飛距離 200m の場外ホームランが打てるグッズ」
3. 「バドミントンで 400km/h のスマッシュ、テニスで 250km/h のサーブを受けられるグッズ」
4. 「捻挫しても、1週間で完治できる回復グッズ」



